

一般質問



中塚 亮 議員 (共産)

子どもの貧困克服へ 品川でも実態調査、就学援助の充実、給付型奨学金の創設など総合的支援を

①子どもの貧困克服のため⑦国に取り組み強化を求めています。①実態調査を。②貧困がもたらす子どもへの影響は。③補助教材への助成を。④給付型奨学金の創設を。⑤給食の負担軽減等を。⑥就学援助の⑦算定は生活保護引き下げと連動しないよう求めるが所見は。①対象と金額の充実を。区長 ①⑦国の責任において判断される事柄だと考える。①事業実施等の中で状況把握に努めている。②健康や教育等の課題があると考えている。教育次長 ③就学援助費の費目に含まれている。④⑤考えはない。⑥⑦平成27年度は現行基準で、その後は社会状況を見て判断していく。

の策定を。⑩防災計画の内容を障害者へ周知しては。⑪防災センター改修では障害がある方も体験等ができる工夫を。防災まちづくり事業部長 ①②④考えはない。③建築物除却時に助成できるように制度変更した。⑤国で検討段階だ。⑥ほぼ充足している。⑦⑧マニュアルは、順次作成し訓練等で周知している。⑨基本計画を策定する予定はないが、避難行動要支援者に関する全体計画を検討中だ。⑩訓練等の中で伝えていく。⑪字幕により、映像を理解しやすくするなどの工夫を計画している。3路線で合計1000億円の税金投入 補助28・29号線、放射2号線道路建設は中止を

①災害対策基本条例は予防第一の防災対策へ改めよう。②木造住宅耐震補助を300万円へ増額を。③新築建て替え助成の復活を。④区営住宅の増設を。⑤感震ブレイカーの設置補助を。⑥消防水利等の強化を。⑦学校避難所運営マニュアルの周知を。⑧各福祉避難所運営マニュアルを策定し周知を。⑨障害者の在宅避難生活支援のため、基本計画

③交差部が踏切でも、幅員を確保することで効果がある。④撤回する考えはない。騒音、落下物、墜落のリスク 品川上空を飛行する羽田増便ルート変更に、区長は断固反対を

①ルート変更について⑦国に要望した騒音や具体的改善策などへの回答は。①南風時の増便により、なぜ品川区上空を飛行するのか。②大井町駅等の騒音は何dBか。③落下物等のリスクについて、区は十分認識を。④市街地上空を飛ぶルート変更は断固反対を。都市環境事業部長 ①⑦約300mを下回る高度で運航する地域では、瞬間最大80dB超、説明は今後進めていきたいとのことだ。①様々なルートを検証して示されたものだ。②大井町駅周辺は瞬間最大80dBほどで、これより北では下回り南では上回ると推測される。③国で監視・指導しているが、落下のないよう区も求めている。④騒音等の影響や説明を引き続き国に申し入れる。

①一般開放もできない室内温水プールをつくった責任をどう考えるのか。②夜間や土日などから一般開放の再開を。地域振興事業部長 ①②伊藤学園プールは温水プールとして設計されておらず、温度調整が困難をきわめた。25年に地域開放を前提とした豊葉の杜学園プールが完成し、温水利用と地域開放を終了した。



山元けい子 議員 (公明)

がん対策の拡充について

象に、5歳刻みで検診の機会を設けている。対象年齢は、29年度以降の課題として国や他自治体の動向を注視していく。②⑦2年に1回の受診券の郵送や、40歳以上の方に毎年郵送している受診案内がコール・リコールに相当する効果効果を有すると考えている。①健康大学しながら公開講座での啓発とともに、広報しながわ等の活用を努めていく。③養護教諭が授業に参加し、喫煙等のがん発生への影響や、がん予防に向けた生活習慣の改善策を考えさせるなどの取り組みを行っている。④養護教諭研修会でDVDの視聴をしたが、活用が進んでいない状況にあり、各学校にPRしていく。また、役員校長会等の場を活用し、協会との連携のあり方を検討していく。

食と健康づくりについて

①しながわ健康プラン21の骨子案に記された「正しい食生活と食への理解の促進」について、どのような事業を考えているのか。②10品目を1日3食でバランスよく摂取することが一目で伝わるような、食と健康づくりをイメージしたロゴマークを制定しては。③高齢者外出習慣化事業について⑦会話を楽しみながら食事をするということと健康増進との関係は。①食と健康について啓発することはとても意味のあることと思うが、所見を。健康福祉事業部長 ①現在、高血圧や糖尿病を予防する健康料理教室などを実施し、ホームページには食事のワンポイントアドバイス掲載して

いる。今後もより一層の充実を図る。②しながわ健康プラン21で視覚に訴えるPRを検討していく。③⑦引きこもりがちの高齢者にバランスのとれた食事を提供し、会話を楽しみながら顔見知りの輪を広げることが生きがいとなり、健康増進につながる。①多様な組み合わせでバランスよく食事をとることは健康維持に不可欠な要素だ。これからも食と健康の啓発を行っていく。

しながわ花海道について

①しながわ花海道から区民公園への回遊動線は。②事業の早期完成を含めた着実な推進への区の役割は。③花海道両岸を直接回遊できない課題について⑦区の認識は。①今後の取り組みは。④新浜川公

園の再整備に当たり⑦地域の歴史を全国に発信できるように魅力の創出を。①都等への働きかけを。区長 ①しながわ花海道から立会川河口部を横断し、競馬場通りからしながわ区民公園への回遊性確保に向け、都と調整を進めている。②都の立会川河川整備計画を受け、区は計画段階から住民意見を踏まえて進めることで、手戻りなく事業が推進されるよう取り組む。③⑦勝島運河の護岸を拡幅し、歩行空間を確保することが課題だ。①護岸改修等に合わせ、花海道両岸を直接結ぶ回遊性について都に働きかけていく。④⑦歴史的資源を生かし、魅力ある水辺空間を創出する。①しながわ花海道等との連続性が確保できるよう、都と連携を図る。



品川歴史館(大井6丁目11番1号)